

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	釜石市すくすく親子教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月26日		~ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	令和7年12月17日		~ 令和8年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人に対する充実した支援の提供	こども家庭センターの心理師による知能検査・発達検査で発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしている。 小集団での活動のほか個々の発達状況に応じた個別活動を実施後、職員間で振り返りを行い、課題や今後の支援方法など共有している。	保護者様への相談支援やフィードバックを丁寧に行っていく。 研修会等へ積極的に参加し、支援の質の向上を目指す。
2	行政関係部署との連携	行政が運営する事業所であるため、母子保健、教育、福祉の関係部署との情報共有及び連携がスムーズに図られている。	こども家庭センターの心理師・保健師と課題の共有やそれぞれの役割分担を確認し、より良い支援提供につなげていく。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会	「父の会」を実施しているが、平日夕方からの実施のため参加率が低い状況。保護者の交流する機会を設定する際に日程の確保・調整が難しい。	療育中の時間を活用し、少人数での茶話会実施など、従来のやり方にとらわれることなく保護者の声も聞きながら立案していく。
2	送迎を行っていないこと	送迎を行うための体制が整っていない。	併設するこども園の利用児（母子分離で療育を行う児童）については、職員が送迎（徒歩）を行う。
3			